

# 議会だより

12月定例会 No.14  
平成21年2月1日

発行 石川県志賀町議会

し  
か  
*Shika*

	ページ
新議長に 戸坂忠寸計 議員	2
固定資産税率を全町で統一	3
<b>志賀原発1号機再起動の時期は</b> (一般質問)	8
私達の議会傍聴記	14



一服いかが！新春祝い初釜に挑戦 (志賀町乳幼児保育園)

# 12月定例会

新議長に

## 戸坂 忠寸計 議員

12月定例会は、12月4日から16日まで13日間の会期で開かれました。

定例会の最終日、林 一夫議長から辞職願が提出され、全会一致で辞職が許可されました。引き続き、議長の選挙が行われ、戸坂 忠寸計議員が議長に当選しました。



越後副議長(左)と固い握手を交わす戸坂新議長

### 議長の要職歴

新町議会で産業建設常任委員長をはじめ、決算特別委員長、旧富来町議会では副議長、総務常任委員長、広報対策特別委員長、決算特別委員長等を歴任。通算4期。

この定例会では、富来病院看護師等修学資金貸与条例の制定をはじめ、平成20年度各会計の補正予算、工事請負契約の締結および一部変更、条例の一部変更などの議案29件、諮問1件、継続審査としていた19年度の各会計決算の認定12件を審議し、19年度一般会計決算の認定については賛成多数で、その他の案件は全会一致で可決されました。

一般質問には4人が町政全般にわたり質問しました。

### 常任委員会委員の変更

#### ■教育民生常任委員会

副委員長

新：下池外巳造 議員

旧：戸坂忠寸計 議員

#### ■議会広報特別委員会

委員

新：下池外巳造 議員

旧：戸坂忠寸計 議員

#### ■能登半島地震災害復興対策特別委員会

委員

新：林 一夫 議員

旧：戸坂忠寸計 議員

# 固定資産税の税率を全町で統一

# 合併協定を1年前倒し

## 全員賛成

### 富来地域の税率を 1.5%から1.4%に

不均一になっている志賀・富来地域の固定資産税の税率を、合併協定より1年前倒しの平成21年度課税分から標準税率の1.4%で統一します。

#### 看護師 確保の一助に

富来病院における看護師不足を解消するため、看護師になるうとする人に対して町独自の修学資金の貸与条例を制定して、将来の看護師不足の一助とし、病院経営の効率化を目指すものです。修学資金は月額5万円、富来病院で業務に従事した期間が5年以上のときは返還が免除されます。(全員賛成)

#### 人権擁護委員

任期満了となる人権擁護委員に盛本浩吉さん(代田)の再任が諮問され、適任とする意見を答申しました。(全員賛成)



盛本 浩吉 さん

## 補正予算

### 平成20年度一般会計

# 2億143万円増額

20年度の一般会計補正予算では、地方交付税の額の確定、まちづくり交付金、公立学校施設整備費補助金などを増額し、歳出では、電算システムの改修、まちづくり交付金事業、定住促進住宅地造成事業の増額、土田小体育館耐震補強工事の実施、基金の積立てなど、歳入歳出それぞれ2億143万円を増額補正し、総額147億9162万円としました。(全員賛成)

#### 20年度各会計別補正後の総額

一般会計	147億9,162万円	
国民健康保険	28億861万円	
老人保健	3億6,568万円	
後期高齢者医療	3億120万円	
農業集落排水	7億3,692万円	
公共下水道	18億7,019万円	
地域し尿処理	5,074万円	
介護保険	25億557万円	
ケーブルテレビ	13億5,222万円	
町立診療所	1億6,364万円	
簡易水道	2,572万円	
水道	収益的収支	6億4,820万円
	資本的収支	6億5,573万円
病院	収益的収支	12億8,632万円
	資本的収支	1億6,819万円

(金額は1万円未満切り捨て)

#### 一般会計 主な歳出(支出)

#### 小学校施設整備事業 6243万円

土田小学校体育館耐震補強工事の実施、富来小学校体育館改築工事の増額など。

#### まちづくり交付金事業 1054万円

西山台ニュータウン第2工区の測量・設計業務委託料に1400万円、

高齢者福祉住宅のバリアフリー対応と受電施設の変更により工事請負費1500万円の増額、補償金2962万円の減額など。

#### 防災拠点施設整備事業 1996万円

西山台の町合同庁舎に2階を追加することによる実施設計委託料など。

#### 住民情報システム更新事業 1575万円

#### 特別財政基金積立金 3624万円

委員長	下池外巳造
副委員長	橘 照茂
委員	南 政夫
〃	富澤 軒康
〃	櫻井 俊一
〃	松浦 恒義
〃	戸坂忠寸計
〃	木村 正男
〃	山本 辰榮

# 決算審査報告

平成19年度の決算認定では、11月11日と12日の2日間にわたって決算特別委員会が開かれました。一般会計と9特別会計、2事業会計の歳入歳出の決算について審査しました。町税の不納欠損額の理由やそれぞれの施策の成果に、活発な質疑が交わされました。

特別委員会での審査の中から、主な質疑内容を報告します。

## 不納欠損大幅増の理由は

**問** 不納欠損額が3500万円。どうしてこんなに大きいのか。

**答** 前年と比較して大幅に増額となっている。大部分は法人の不納欠損。法人は倒産で財産がなくなったことにより徴収不能となった。個人は死亡、所在不明、破産によるものである。

不納欠損とは、地方税法の要件に当てはめて納められる見込みがない税(債権)を、徴収対象から外す公会計上の処理で、納税義務が無くなること。

## 今後の財政シミュレーションは

**問** 町債が事業会計を含めて348億の残高がある。固定資産税が毎年5億ずつ減るといふシミュレーションがでている中、どう対応していくのか。

**答** 縁故債(民間からの借入金)については余裕のあるときに償還できるが、国の場合は原則償還はできない。

今後は、事業量を抑えていき、長期的に、これ以上借入金を増やさないといかたちでいかざるを得ない。これ以上、事業が増えれば、基金を取り崩さなければならなくなる。

町債とは、各種の事業を行うために国や県及び金融機関から借り入れたお金。

## 補助金・助成金見直しの検討は

**問** 監査委員の意見書に補助金、助成金の効果、使命の終わったものは廃止も含めて見直しをという意見があるが、検討はしたのか。

**答** 全ての補助金、助成金の洗い出しをしているところである。

21年度に全てというわけにはいかないが、具体的にさわる予定をしている。

## 文化ホールに常勤職員を

**問** 文化ホールに20年度から常勤の職員が居なくなった。一人も居なくすることが適正化でない。

**答** これからの財政事情を考えたときに一番気をつけなければならぬのが、経常収支比率であり、高くできない。人件費の削減を考えた場合、常勤職員でなくとも十分代わりができるという判断から、こういうかたちを取らせてもらった。

経常収支比率とは、歳出のうち人件費や公債費などの経常的な支出に、町税などの経常的な収入がどの程度充当されているかを示すもの。財政構造の弾力性を判断する指標で比率が低いほど弾力性が大きいことを示し、一般的に80%を超えるると弾力性が欠けるとされる。

志賀町の経常収支比率は平成19年度73・5%、(平成18年度は99・6%)

# 更なる福祉向上を 目指して



**震災の義援金は  
どうなったのか**

**問** 能登半島地震関係で歳出には見舞金があるが、町に入った現金、義援金は決算書に載っていないが、実際どれくらいあったのか。

**答** 義援金の合計は、9月現在6456万円。支払いは見舞金などに5561万円。差額895万円は、町の災害緊急基金に積み立てたほうが有意義に活用できると考え、12月議会で補正を提出し、基金に積み立てる。

**富来病院に  
産婦人科の設置を**

**問** 妊婦が富来病院へ来て、もう生まれるとなった場合、どういう対応を取るのか。全国的にたらい回しの問題もあり、産婦人科があれば、もっと人が来るのではないか。

**答** 急な場合は病院を紹介しているのが現状である。

産婦人科は公立病院なので採算抜きでしなければいけないが、医師不足でこちらにはなかなか来てもらえない。

**水道事業 今後の  
シミュレーションは**

**問** 年々人口が減り、水道使用量が減っている説明があった。今後10年くらいのシミュレーションを考えているか。

**答** 料金体系、施設、将来の水道事業の方向などの地域水道ビジョンを今年度から2カ年で調査をする。

それを踏まえて、料金改定、水道事業全般の参考にして今後事業を進めた

## 平成19年度決算の状況

※1万円未満は切り捨て

会計別	歳入	歳出	差引残額	
一般会計	170億 2,037万円	168億 5,106万円	1億 6,931万円	
特別会計	国民健康保険	29億 3,797万円	29億 3,208万円	589万円
	老人保健	29億 4,220万円	29億 4,219万円	1万円
	農業集落排水事業	10億 9,640万円	10億 9,640万円	0万円
	公共下水道	15億 5,800万円	15億 5,792万円	8万円
	地域し尿処理	8,349万円	8,349万円	0万円
	介護保険	24億 990万円	23億 2,999万円	7,991万円
	診療所事業	1億 4,668万円	1億 2,295万円	2,373万円
	簡易水道	8,094万円	8,094万円	0万円
	ケーブルテレビ	13億 3,003万円	12億 7,428万円	5,575万円
水道	収益的収支(税抜)	6億 7,927万円	5億 7,483万円	1億 444万円
	資本的収支(税込)	2億 311万円	5億 6,614万円	△3億 6,303万円
病院	収益的収支(税抜)	14億 848万円	14億 6,040万円	△5,192万円
	資本的収支(税込)	6,775万円	1億 1,965万円	△5,190万円



地目の現況の把握など課員に指示する税務課長

## 総務

委員長	田中 正文
副委員長	松浦 恒義
委員	越後 敏明
〃	寺岡真貴子
〃	櫻井 俊一
〃	山本 辰榮

議会の3つの常任委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。9月定例会開会中の主な審議内容等を報告します。

### 税率の統一で雑種地の評価基準は

**問** 雑種地の評価について、新年度の考えは。

**答** 富来地域の税率を志賀地域の税率に統一するというところで、富来地域の評価基準も志賀地域に合わせる。

**問** 雑種地は志賀地域で近傍宅地の5割、富来地域は3割で評価しているが、全町統一して、富来地域も5割評価に改める。

**答** 現況地目の確認がされていないと耳にしたことがあるが、現況課税がなされているか。

**問** 土地の課税は現況課税が原則であり、職員で手分けして把握に努め、変更している。

**答** 登記所で変更されれば分かるが、毎年変わっていく地目もあり、100%の把握は難しい面もあるが、今後とも現況地目の把握に努力する。

### スライド条項の適用の基準は

## 教育民生

委員長	橘 照茂
副委員長	戸坂忠寸計
委員	下池外巳造
〃	須磨 隆正
〃	林 一夫
〃	稲村 幸雄



改築工事が進む富来小学校体育館

**問** 小学校施設整備でスライド条項を適用したとの説明があった。スライド条項に該当する基準はどのようなものか。

**答** 契約書約款に明記しており、特別な要因により、工期内に主要な工事材料の価格が著しく変動し、契約金額が不相当となった場合に、この規定によって申し出ることができる。

**問** 過去の奨学金で滞っているのが解決されているか。

**答** ほとんど適正に返還されているが、若干返還してもらえない人がいる。電話、自宅訪問で返還を促している。総額で500万円ほどの未返還がある。あとは、毎月いくらか返還をお願いし、順調に返還してもらっている。

**問** 富来病院看護師等就学資金もいけば奨学金であり、新たな条例については有効に活用してほしい。後の対応も十分に考えた処置をお願いする。

委員長 富澤 軒康  
副委員長 南 政夫  
委員 小田 芳治  
// 辻 武美  
// 久木 拓栄  
// 木村 正男

## 産業建設

# 高齢者福祉住宅敷地 バリアフリーの予定は



敷地もバリアフリーで整備が進められる高齢者福祉住宅(高浜町地内)

**問** 高齢者福祉住宅で1500万円の補正。当初敷地のバリアフリーは予定していなかったのか。  
**答** 当初、計画した段階では考慮していなかった。国・県を入れて協議を重ねた結果、配慮した設計に見直すようにと指導があり、今回、バリアフリー対応と外灯設備等の整備を進める。

**問** いつ完成するのか。  
**答** 建物は年明けに完成。敷地の造成は発注後、3月31日を目標に努力する。現在、入居日を4月1日としているが、事業の進捗によっては最悪6月1日も考えている。  
**問** 緑地面積の率の緩和により堀松工業団地は実際どうなるか。  
**答** 堀松工業団地は住宅、工業団地の共用の工業団地で、それぞれまだ造成していない山がある。緑地帯の面積の緩和により、工場の面積が有効に使える。  
**問** 町で新たに目的があるのか。  
**答** そういうことはなく、まだ未造成がたくさんあるので、新たに企業進出があった場合に、これを適用する。

## ケーブルテレビ

# 志賀チャンネルで 本議会を試験放送

志賀町ケーブルテレビの全面開局に伴い、議会ではケーブルテレビ議会



中継等調査会を立ち上げ、議会中継のあり方を検討してきました。12月定例会は、試験的に初日の町長の提案理由、2日目の一般質問を12月20日午前9時、21日午後9時からの2度、約2時間ずつ、志賀チャンネルで放映しました。今後、多くの方に関心を持ってもらえるように、尚一層の検討を続けていきます。

## 議会活動報告

# 石川県原子力防災訓練 11月14日(金) 防災意識の高揚を図れ

11月14日、県原子力防災訓練が志賀オフサイトセンターを主会場として実施され、議会では防災訓練の様子を視察しました。  
避難訓練やスクリーニング訓練では、住民の方々が多数参加し、真剣に訓練に取り組んでいました。今後も、多くの住民の参加を求め、防災意識の高揚を図ってほしいと願います。



## 志賀原発1号機 再起動の時期は

適時適切に判断したい 町長



辻 武美 議員



1号機が運転停止中の志賀原子力発電所

**辻** 志賀原子力発電所1号機は耐震裕度向上工事が来年1月には終了、その後も国による特別な定期検査が継続されるが、終了すれば物理的に再起動は可能と認識している。再起動の時期について、どう考えているのか。その際に、何か2号機と異なる固有な条件があると考えているのか。

**町長** 特別な区別があるわけではなく、再発防止対策は、今後とも、息長く更なる定着に向け、企業を挙げて取り組み続けることが必要である。安全最優先を日々の実践で示すことよって、町民の更なる信頼を得ていくことが重要。申し入れがあれば、議会と相談しながら、町民の安全・安心を第一に適時適切に判断したい。

## 小学校・保育園の統廃合跡地分譲で 財政軽減と地域活性化を

活性化に繋がる活用方法を考えたい 町長

**辻** 小学校・保育園の統廃合が予定されているが、これらの跡地はいずれも校下の中心に位置し、道路、上下水道などのインフラが既に整備された優良かつ広大な敷地である。

都会では団塊世代が退職を迎え、田舎暮らしを希望する者もいると聞く。この運動場のように比較的造成費用が必要でない土地を格安の価格で分譲し、財源負担の軽減と地域の活性化を図るべきと考えるがどうか。

**町長** 現在、富来地域でいくつかの該当施設があり、放課後児童クラブや社会教育施設として利用しているが、補助金の返還や起債の繰上償還などの問題もあり、抜本的な解決策になっていない。今後、志賀地域も統合、再編によって空き施設が出てくるが、跡地利用は、大変大きな課題である。

分譲宅地、公営住宅用地も選択肢の一つとして考え、今後、議会や地域住民と相談しながら、有効利用を検討する。地域の活性化に繋がる活用方法を考えたい。

### その他の質問

**辻** 役場庁舎内の喫煙所は、3階に一箇所のみ。来庁者、会議出席者で喫煙場所が分からない方が庁舎周辺での喫煙、吸殻等の投げ捨ても聞く。

年間約1億5千万円の税を納めている愛煙家を排除するのではなく、町民および職員の愛煙家のマナーとサービスの向上を図るため、喫煙場所を各階に設けてはどうか。  
**町長** 社会の情勢などから、現時点では、喫煙場所の移動や増設は考えていないが、喫煙場所の案内表示等を検討する。



# ふれあい事業の基本的な考え方は

## 有効に機能しているか精査する 町長



少子化対策として第3子以降の出産児1人につき30万円が交付される出産祝金



寺岡 真貴子 議員

**寺岡** ふれあい事業の基本的な考え方は。

**町長** 結婚祝金は若者定住促進、出産祝金は少子化対策、仲人奨励金は晩婚化対策。

各事業が有効に機能しているか精査し、事業を継続するか判断したい。

**寺岡** 成果報酬のやり方より、実際に結婚に至るまでの支援する既存の事業を支援していく方が効果的だ。

**町長** 青年団のナチュラルタイムは、今後も継続実施していただきたい。若者の活動に報いるためにも、ふれあい事業と連携した支援を検討したい。子育て支援財団のタウンミーティングも、参加の呼びかけ等できる限りの支援をしたい。

# 町政懇談会の感想は

## 今後の町政に反映すべく努力したい 町長



上熊野地区の町政懇談会の様子

**寺岡** 町政懇談会の感想は。

**町長** 保育園・小学校の統廃合や志賀高校に関する教育の問題、税金・水道料金等不均一の是正、幹線道路の整備等、切実な問題が多く、今後の町政に反映すべく努力したい。ただし、財政状況等を勘案しながら、計画的に事業を進めなければならない。

**寺岡** 町政懇談会の意見を取りまとめ、結果を公表すべきだ。

**町長** 詳細を議会や参加した各種団体長へ配布する予定。全体で270件あったので、広報や町ホームページで、内容を絞り込んで公表したい。

### その他の質問

**寺岡** ホームページは、どういう情報を発信すべきか政策的に考え、町のセールスポイントを、ターゲット毎にもっとわかりやすく提供すべきだ。

**町長** 情報発信していく施策を絞り込み、町のセールスポイント等を分かりやすく、検索しやすいページ作りをしたい。

**寺岡** CATVは、より生活に密着した情報を流すべきだし、本町の優れている点等を紹介する番組を作って、住んで良かったと思える町をPRすべきだ。

**町長** 自主放送番組基準や編集に関する基本計画に基づいて、当面は全町的な行事や、教育・文化・福祉・スポーツ等幅広い分野から番組を提供していきたい。

本町の特徴ある制度や町を再発見できるような伝統・文化等も紹介し、住んで良かったと実感していたような番組制作を心掛けたい。

## 志賀高校 県・町の方針

### 速やかに発表すべきだ

#### 県に強く要望して対応したい

町長



南 政夫 議員

**南** 通学方法や支援を県にお願しているとのことだが、受験生や保護者にとっては、もう志望校を決める時間がきている。県・町の方針を速やかに発表すべきだが、町長はどう考えているか。

**町長** 県教育委員会では、「高校再編に伴う遠距離通学者の支援は、県育英資金に新たに別枠を設けるとともに貸付限度額も拡大しているが、志賀高校は、更に状況に応じた通学支援策も検討したい。」とのことである。町がどういう形で対応していけばいいかの判断にもしたいので、県に早く支援策を出すことを強く要望して対応したい。



衛生管理には万全を期している学校給食共同調理場

#### 学校給食食材

#### 確実に安全なものを

#### 万全を期している 教育長

**南** 学校給食は、食材を十分に吟味して確実に安全確認できた物を使用してほしい。

できるだけ、生産者の顔の見える地元の食材を使用してほしいがどう思うか。

**教育長** 製造業者、製造年月日、納入時間、納入担当者、食品温度など榮

養成分のみならず、内容成分表も取り寄せ、原産国や加工地を確認している。共同調理場でも独自に食材や調理器具等の細菌検査を実施し衛生管理に万全を期している。

地産地消活用を積極的に推進しており、地元食材の割合は30%以上となっている。

#### その他の質問

**南** 来年度から、町内全小学校で「放課後子供教室」事業に取り組みと聞く。必要な人材の確保はできたのか。事業の目的と現況を聞きたい。

既に実施している学校もあり、学校間の連絡を密にして合同での取り組みや児童クラブとの連携も考えられるかどうか。

**教育長** 子供達が地域社会の中で、心豊かで健康やかに育つ環境づくりを推進するため、安全・安心な活動拠点、居場所づくりが求められている。現在、3教室で実施されており、放課後や週末に公民館や地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化・体験・地域住民との交流活動等を行っている。

人材確保は難しいが、公募や広報活動により、PTA、地域の理解、協力で確保したい。

放課後児童クラブと両方兼ねる児童も予測され、常に連携を共にしていきたい。

教室間の合同の取組には、活動メニュー等の交換も必要。実行委員会等で協議して、できるところから取り組みたい。

**南** 学校支援地域本部事業の目的と具体的な活動内容は。現在、どんな取り組みをしているのか。

**教育長** 具体的には学習部活動、学校行事、環境整備、および安全パトロールの支援が挙げられる。

現在、登下校時の安全確保を目的に、町内8小学校で、10月から見守り隊事業を行っており、636名に協力してもらっている。



須磨 隆正 議員

## 今後の税込減で何を重視するのか

### バランスを持った行政運営を心がけたい 町長

**須磨** 町の財政状況を見ると、借金は約350億円、基金は約75億円。今後、税収は毎年約5億円以上減少する中、借入金が増える一方だと思われる。基金を計画的に積み、状況を見ながら事業を行ってほしい。

建設関係を重視するのか、教育、福祉を重視するのか、町長の考えは。

**町長** 平成27年度には税収の大幅な落ち込みなどにより、財政状況が大変厳しくなる。基金を計画的に積立て、あらゆる面で歳出削減の徹底を図ることを念頭に置いた財政運営に、今後、さらに取り組んでいきたい。

同時に行政改革も、集中改革プランに示された具体的な実施内容と数値目標計画の実現に取り組み、健全財政の堅持に努めていきたい。

社会資本の整備も大事だし、教育や福祉も当然大切である。バランスを持った行政運営を心がけたい。



既に複式学級となっている加茂小学校

## 志賀地域の小学校再編 段階的に統合すべきだ

### 同時統合が望ましい 町長

**須磨** 新聞報道では、平成21年度から基金を積立て、平成25年春開校とある。4校の耐震工事は平成20年、21年で完了し、25年春新校が開校となれば3年間、あまりにも無駄な出費だと思う。段階的に統合し、状況を見て

将来1校に統合すべきと思う。

新設の場合、今後の厳しい財政状況のなか、起債を起さずに建設資金の積み立てをするのは大変なことだと思うが、町長の考え、財源の捻出方法を具体的に聞きたい。

**町長** 統合小学校は、平成25年度開校を目指して1校にしたい。新設か改修か、施設、財源手当てなどの問題は、今後内部で検討して、議会や関係者と協議を重ね、結論付けなければならぬ。

多額の費用を要することから、将来の財政に配慮し、基金の積立てを計画している。

志賀地域の児童数の推移から見ると、段階的な統合よりも同時統合が望ましい。

整備にかかる財源は、文部科学省所管の国庫補助金、普通交付税措置のある有利な地方債、建設基金及び一般財源の予定。志賀地域振興に資する事業であり、特別財政基金も、議会の理解がもらえれば、視野に入れて健全財政を保持できるように検討したい。

閉校後には体育館等を地域に開放、災害の避難施設となる状況から考慮しても、耐震補強工事は避けることができない。

児童の安全性を確保することは学校設置者の責任であり、国・県からも早急に着手するよう指示されている。

**須磨** 耐震工事をするなという意味ではなく、5年10年かけて無理のない財源で基金を積み、ゆっくり工事をしてほしい。

**町長** 耐震補強もできるだけ最小限、経費の掛からないような補強もしていきたい。

既に加茂小学校が複式学級になっており、できるだけ教育の低下を考えないように早く統合したい。

# 成人おめでとう



はたちの門出に

246名が出席

1月11日、能登ロイヤルホテルで行われた成人式では、281名の新成人のうち、246名が出席し、大人への自覚を新たにしました。

来賓を代表して議長が「ふる里志賀町を更なる発展へと導くために、若さあふれる皆さんの力をお借りしたい」と祝辞を述べました。

これからの新成人の皆さんの活躍を期待したいと思います。



祝辞を述べる戸坂議長



久しぶりに再会する友達と成人を祝して乾杯



246名が出席して厳かに成人式が行なわれました

# 直撃インタビュー 新成人に聞きました

成人式の会場で新成人に20歳になって思うことなどをインタビューして来ました。

質問事項は①どんな大人になりたい②将来又は今後の目標等③志賀町に対して望むことです。



新成人を代表して細川町長から記念品の贈呈を受ける牧野さん

牧野 睦人さん(高浜町)

現在、金沢の大学で勉強しています。何事にも責任を持って行動できる大人になりたい。  
将来は地元で就職して地域に貢献できるような仕事をしたい。  
若い人が少なくなっているのに、若い人が住みやすい町になってほしい。



新成人を代表して謝辞を述べる新古さん

新古 瑠璃さん(鹿頭)

現在、教員になるため新潟県の大学で勉強しています。責任と自覚を持った大人になりたい。  
将来は石川県に戻って小学校の教員になりたい。  
志賀町には良い風土や綺麗なところがあるので、もっとPRして良くなっしてほしいと思う。



二十歳の決議を行なう柴田さん(左)と徳山さん(右)

柴田 悠平さん(高浜町)

現在、金沢の大学で勉強しています。社会人としてルールを守る大人になりたい。  
将来は地元で就職して地域に貢献できるような仕事をしたい。  
町にはもっと活気のある若者が集まる町にしてほしいと思います。

徳山 菜美子さん(梨谷小山)

4月から公務員(県職員)になります。  
社会のルールにしっかりと従い、自分を律してちゃんとした大人になりたい。  
若い人が町に残るように、もう少し遊ぶ場所を増えてほしい。

# 第20回志賀町を描く美術展 町長賞の作者に聞く!



作品名「ころ柿の里」



表 昌光さん  
(かほく市)

今回、町長賞をいただき、誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。今まで10回以上の出品回数になりますが、志賀町が大好きです。この賞を励みに今後も出品を続けたいと思います。美術展の益々のご盛況を心より願っております。

芸術文化の振興を願い、志賀町の美しい自然や生活、産業や夢などを描いていただく公募展を毎年開催しています。昨年の11月には第20回の審査が行われ、次の方が、町長賞に選ばれましたので、作者の感想を交え、ご紹介させていただきます。

## 私たちの議会傍聴記

### 初めての議会傍聴を終えて



曾野 淳子さん  
(安津見)

地区の婦人学級の一環で、初めて議会の傍聴をさせていただきました。

一般質問の内容はどれも感心の高いものばかりでした。今回質問されたどの議員も声の大きさ、声の張り、ピンと背筋をはつての質問に挑む姿勢が素晴らしい。自然に前のめりになって聞き入る自分に気がつきました。まさに町民が関心を示す議会であり、町民が望むまちづくりを目指す議会であったと思います。

今回の議会傍聴は町政に参加できた有意義な時間でした。今

後とも活気ある議会を重ねていただき、私達が住んで良かったこれからも住んでいたいと思える、また、町民として誇りの持てる志賀町にしていきたいと願っています。

### 住民の声にも耳を傾け解決を



上嶋 昭子さん  
(倉 垣)

感も伴って、興味深く聞かせてもらいました。その中に、財政状況に関連しての小学校の再編整備と耐震補強について質問がありました。

私の住む加茂地区では少子化が進み、現在、小学校は複式学級となっております。

小学校の再編問題は、地区住民にとって大きな関心事でありますし、また、校舎の耐震補強は、子供達の安全を思えば当然必要なことだと思います。

今後、財政状況は益々厳しくなると思います。住民の声にも耳を傾け、議員の皆さんや町長さんで協議を重ねながら、早期に解決してほしいと思います。

議会の一般質問を傍聴させていただきました。議場に入退場される皆さんが、正面に向かって丁寧に礼をされる姿は、私達の代表として議会を大切に、真剣に取り組んでいる気持ちの表れとしてさわやかな気持ちになりました。

一般質問は、どの質問も緊迫

### 議会広報特別委員会

発行責任者	戸坂忠寸計
議長	橘 照茂
委員長	田中 正文
委員	下池外巴造
	越後 敏明
	富澤 軒康
	櫻井 俊一

